

<株式会社エフエム東京 第361回放送番組審議会議事録>

1. 開催年月日：平成21年9月1日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）

◇出席委員（7名）

子安美知子 委員長 青池慎一 副委員長
内木文英 委員 渡辺貞夫 委員
内館牧子 委員 香山リカ 委員
横森美奈子 委員

◇欠席委員（0名）

4. 議題

【番組名】「クロノス衆議院選挙スペシャル

～列島縦断☆POWER TO THE PEOPLE」

【放送日時】2009年8月30日（日） 22:00～29:00 放送分

（※23:00～23:30を除く）

[第一部]「ニッポンが動いた！」(22:00～23:00/23:30～25:00)

出演：中西哲生・柴田幸子（クロノス・パーソナリティ）
草野厚（政治学者・慶應義塾大学教授）

[第二部]「上杉隆の列島リアルレポート」(25:00～27:00)

出演：上杉隆（政治ジャーナリスト）・村田睦（TFMアナウンサー）

[第三部]「どうなるニッポン!？」(27:00～29:00)

出演：中西哲生・村田睦
有馬晴海（政治評論家）
築瀬進（民主党・参議院議員）

【番組概要】

民主党が圧勝し、政権交代となった第45回衆院選。本特番では、20代～30代の視点を通して、この歴史的な選挙を報道しました。

第一部では、各党開票センターからのレポートと、各党幹部のインタビュー、さらには投票を終えたリスナーの意見・アンケートを交え、刻々と変わる開票情報を伝えました。

第二部では、政治ジャーナリスト・上杉隆さんの携帯電話をスタジオに持ち込み、ご本人の人脈と視点をフル回転で活用し、選挙を終えたばかりの候補者へ直電インタビューを実施。選挙では見られない本音を引き出しました。

体制が判明した第三部では、20代～30代の街頭インタビューを始め、リスナーの新政権への期待や不安などをテーマに、政治評論家・有馬晴海さんや国会議員の築瀬進さん、中西哲生が選挙を振り返り、これからの日本のあるべき姿を議論しました。

<試聴時間：約20分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- コメンテーターの人選が良かった。若い人たちからも注目され、政治的にもリベラルな人たちだと思う。特にこのタイミングでの上杉隆さんのブックイングは素晴らしい。この時間帯にラジオを聴いている人たちは何らかの理由でテレビを観られない人たちが多いのではないかと思うが、そういう人たちが聴いて「得した」と思える内容だと思った。
- 8月に放送された一連の選挙に向けた放送も聴きたかった。「思わずシラケる選挙戦ランキング」など TOKYO FM が独自で調査した選挙に関する意識アンケート結果は興味深い。これは画期的な取り組みだと思う。時代錯誤な選挙運動に疑問を持った人も多いと思う。そこに焦点を当てたことが面白い。また、自民党と民主党を肉食と草食に特徴付けたのも興味深い。古い体質に違和感を覚えている人が多いという結果からも、今回の政権交代となった時代の流れを感じる。
- 自民党と民主党に違いがどれだけあるのか疑問だが、いろんな人たちの意見を聞きながら自分の意見を考える機会となる番組だった。
- 率直に言って良い番組だったと思う。大半がテレビを見らと思うが、センセーショナルなリズムを求めがちなテレビと比べると、出演者たちが落ち着いたトーンで語っているこの番組は素晴らしいと思った。「思わずシラケる選挙戦ランキング」アンケートなどは、若者の感性や感覚が浮き彫りになる内容で、参考になった。
- 一部、違和感を覚えるコメントがあったのが気になった。リスナーに意見を

求めるのは良いと思うが、内政問題ばかりで、それよりも大切な問題があると思った。国民の生活を豊かにさせるという目先のことばかりではなく、国の尊厳がかかった問題もたくさんあるはずだ。番組としては、「思わずシラケる選挙戦ランキング」アンケートなどは野次馬的な視点では面白かった。

- 「思わずシラケる選挙戦ランキング」アンケートは面白い。選挙カーや演説の騒音、土下座など、多くの人がおかしいと思ったことを、アンチテーゼとしてアピールすることは意味のあることだと思う。番組は全体的に分かりやすく面白。無意味なハイテンションも無くてよかった。ただ、突っ込み方がありがち。もっと素朴な問題に突っ込んで欲しかった。上杉隆さんのリポートは、ダイジェストだったせいか、物足りなかった。候補者への直電インタビューは、事前に電話がいくことが伝わっていたように感じた。
- これは大変な意気込みとエネルギーが注入された番組だと感心した。20世紀は良い時代だったが、21世紀は生きづらい時代だという人がある。また、21世紀がどうなるのかまだ見ていたいという人もいる。変化の時代にいるのだと、色々なことを考えるきっかけとなる番組だった。
- 直電インタビュー企画については事前に連絡はしていない。話し中や留守電ばかりでつながらない人が大勢いた中、やっとつながった人たちだけを編集してご紹介しているので、スムーズにつながっているように聴こえる。ブッキングは難航し、直前までなかなか決まらなかった。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送：番組「リサ・ステッグマイヤーのクロノス」
9月25日（金） 5:00～8:30 放送
- ② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット：TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は10月6日（火）に開催することを決めた。

以上